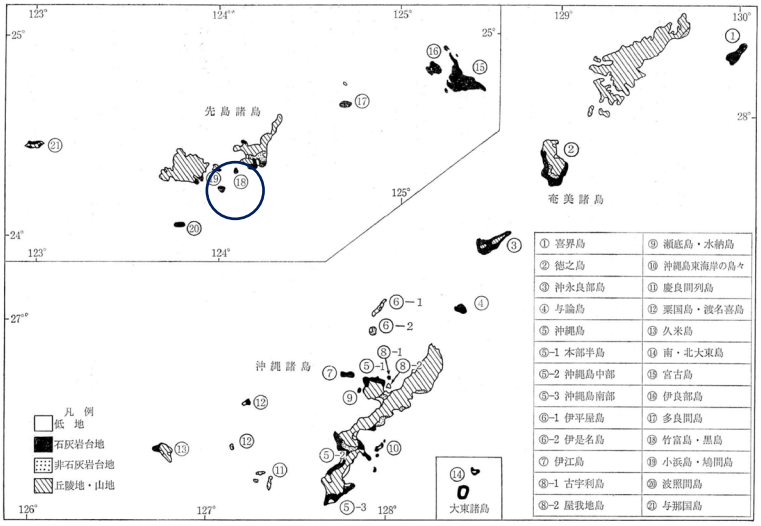
18.竹富島・黒島

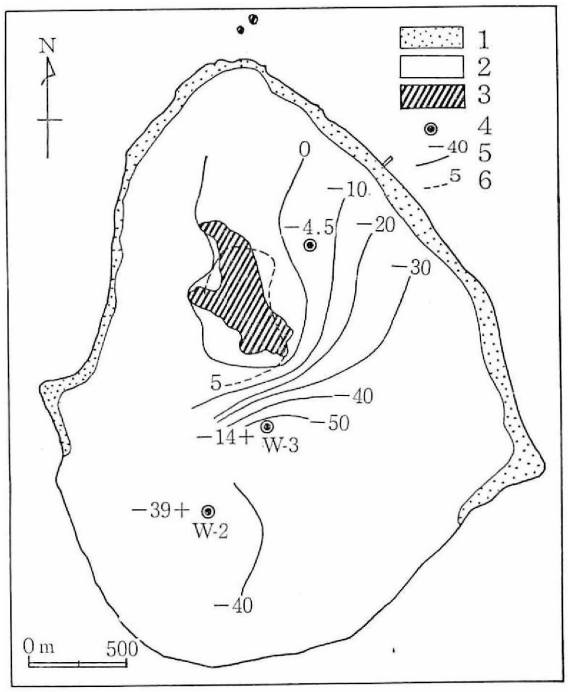


地形・地質

竹富島は面積 5.5km^2 の卵形をした小島で，島の中央に古生層(砂岩・粘板岩・チャート)が露出し，20m 前後の小丘をつくるほかは，琉球石灰岩の緩やかな地形が広がります。黒島は竹富島からさらに南西へ 10km に位置し，面積は 10km^2 ですべてが琉球石灰岩からなっています。

地下水

竹富島は基盤付近の石灰岩に賦存する地下水は，ほとんどが海へ流出してしまい，利用できる地下水はごくわずかしかありません。島の中央部にある集落は，基盤が浅いため，浅井戸で地下水を利用しています。黒島の地下水は，塩水の上に薄くのる淡水レンズとして存在します。



1.砂丘堆積物、2.琉球層群(石灰岩)、3.基盤岩類
(砂岩、粘板岩、チャート)、4.試掘井、
5.基盤上面等高線(m)、6.地下水面等高線

竹富島の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）